

映像音響学科

科目一覧&シラバス

映像音響学科履修科目一覧表

	科 目	1年次		2年次		合計	担当	実務経験のある教員等による授業
		前期	後期	前期	後期			
	音響理論Ⅰ	2				2	竹田智明	○
	音響理論Ⅱ		2			2	竹田智明	○
	ビジネストレーニングⅠ	2				2	掛場泰行	○
	ビジネストレーニングⅡ		2			2	掛場泰行	○
	作品研究Ⅰ	3				3	上野克	○
	作品研究Ⅱ		3			3	上野克	○
	電気電子基礎Ⅰ	1				1	掛場泰行	○
	電気電子基礎Ⅱ		1			1	掛場泰行	○
	ノンリニア編集Ⅰ	3				3	大谷内真郷	○
	ノンリニア編集Ⅱ		3			3	大谷内真郷	○
	イラストレーターフォトショップⅠ	3				3	中越豊子	○
	イラストレーターフォトショップⅡ		3			3	中越豊子	○
	音響実習Ⅰ	4				4	竹田智明	○
	音響実習Ⅱ		4			4	竹田智明	○
	撮影実習Ⅰ	4				4	大谷内真郷	○
	撮影実習Ⅱ		4			4	大谷内真郷	○
	デジタルサウンドⅠ	3				3	清水目千加子	○
	デジタルサウンドⅡ		3			3	清水目千加子	○
	映像理論Ⅰ	2				2	大谷内真郷	○
	映像理論Ⅱ		2			2	大谷内真郷	○
	照明実習Ⅰ	2				2	土田充	○
	照明実習Ⅱ		2			2	土田充	○
	シナリオ論Ⅰ	2				2	坂本義昭	○
	シナリオ論Ⅱ		2			2	坂本義昭	○
	集中講義Ⅰ		1			1	招待講師	○
	小計	31	32	0	0	63		
	音響技術Ⅰ／デジタルサウンドⅢ			3		3	竹田智明/清水目千加子	○
	音響技術Ⅱ／デジタルサウンドⅣ				3	3	竹田智明/清水目千加子	○
	DTP実習Ⅰ／映像デザインⅠ			3		3	前伊知郎/森崎和宏	○
	DTP実習Ⅱ／映像デザインⅡ				3	3	前伊知郎/森崎和宏	○
	就職対策Ⅰ			2		2	掛場泰行	○
	就職対策Ⅱ				2	2	掛場泰行	○
	モーショングラフィックス			3		3	齋藤佑馬	○
	卒業制作				2	2	大谷内真郷	○
	イベント実習Ⅰ			3		3	大谷内真郷	○
	イベント実習Ⅱ				3	3	大谷内真郷	○
	広告論			2		2	大久保浩秀	○
	DTM実習Ⅰ			3		3	船崎康介	○
	DTM実習Ⅱ				3	3	船崎康介	○
	情報リテラシー実習			3		3	窪田夏希	○
	映像制作Ⅰ			6		6	中村俊彦	○
	映像制作Ⅱ				6	6	中村俊彦	○
	集中講義Ⅱ			2		2	招待講師	○
	集中講義Ⅲ				3	3	招待講師	○
	小計	0	0	30	25	55		
	合計	31	32	30	25	118		
	実務経験のある教員等による授業単位数合計	31	32	30	25	118		1,770単位時間

* 表中の数字は単位数(50分授業を15週で1単位)

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	1	科目区分	必修
科目名	音響理論Ⅰ・Ⅱ	授業形態	講義		
開講期	通年	単位	4	週または年コマ数	週2コマ
担当教員	竹田 智明	使用テキスト	映像音響設備マニュアル プロ音響データブック 劇場音響技術教書		
担当教員 実務経験概要	音響会社勤務においてPA、録音ミックス、MAの業務に従事。 2003年独立し個人事業所開業、現在まで同業務に携わる。				
授業概要 および 学習目標	音響業務に携わるために必要とする知識を音響理論、音響機器の機能の理解、 使用方法などを学習する。舞台機 構調整技能士3級合格の必要知識を学習する。				
授 業 計 画	4月	音響基礎理論 音響調整卓の機能説明 アナログミキサー概要			
	5月	音響基礎理論 マイクロフォンの機能、役割、種類説明			
	6月	デジタルミキサー概要 イコライザー、各種エフェクターの説明 中間考査			
	7月	パワーアンプ スピーカーの説明 周波数特性、位相の説明 音響仕込み図 期末考査			
	8月				
	9月				
	10月	デジタルオーディオの基礎 DAW概要 レコーディングスタジオ使用方法説明			
	11月	さまざまな楽器へのマイクセッティング 録音方法説明			
	12月	各種機器のメンテナンス方法 音響機器測定方法 調整方法 各データの見方の説明			
	1月	各種ケーブルの説明 舞台、日本の芸能の歴史 舞台ホールの説明 使用時注意事項			
	2月	学年末考査			
	3月				
成 績 評 価	中間考査 期末考査を実施し点数評価 出席状況を加味します				
そ の 他					

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1年	科目区分	必修
科目名	作品研究Ⅰ・Ⅱ			授業形態		講義	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			週3コマ
担当教員	上野克		使用テキスト		特になし		
担当教員 実務経験概要	石川県金沢市のミニシアター「シネモンド」支配人として、映画館業務に携わる。 金沢コミュニティシネマ代表として、小学生を対象に映画に親しむワークショップ 「こども映画教室」の運営にも携わる。						
授業概要 および 学習目標	映像と音響は相互に影響し合い、新しい作品や商品が生まれ続け、積み重なり新 たな表現が生まれていきます。 世界で最初の映画をはじめとした様々な作品に触れ、作品と向き合うことで、自分 ならではの視点と感性を育むことを目的とします。						
授業計画	4月	ガイダンス、作品研究					
	5月	作品研究					
	6月	作品研究					
	7月	作品研究					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	作品研究					
	11月	作品研究					
	12月	作品研究、冬期休暇					
	1月	冬季休暇、作品研究					
	2月	作品研究					
3月							
成績評価	毎回のレポートによる評価						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1年	科目区分	必修
科目名	電気電子基礎Ⅰ・Ⅱ			授業形態		講義	
開講期	通年	単位	2単位	週時間数			1時間
担当教員	掛場 泰行		使用テキスト		新入生のための電気工学		
担当教員 実務経験概要	高等学校の数学教諭を経て、現在の学校にて数学系と就職に関わる ビジネストレーニングを20年以上担当						
授業概要 および 学習目標	映像音響学科では電気の知識が必要となる。しかし、「数学嫌い」な学生が 少なくなく、電機の授業を進めるにはかなりの障害となる。そのような学生に 最低限の数学を理解してもらい、電気基礎の習得を目標とする。						
授業計画	4月	電気の基礎知識					
	5月	直流回路					
	6月	電力と電力量					
	7月	電気抵抗					
	8月	夏期休暇					
	9月	同上					
	10月	電流と磁気					
	11月	電磁力					
	12月	電磁誘導					
	1月	静電気の基礎					
	2月	交流回路の基礎					
	3月	春期休暇					
成績評価	授業中の学習態度 定期テストの成績						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1	科目区分	必修
科目名	ノンリニア編集Ⅰ・Ⅱ			授業形態		演習・実習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			週3コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		音響映像設備マニュアル		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。						
授業概要 および 学習目標	Adobe Premiere AfterEffectsの使用方法を理解し、課題を制作する						
授業計画	4月	MACの操作と使用ソフトの基礎					
	5月	Premiere操作 基礎 ウィンドウの種類と用途 編集方法					
	6月	Premiere操作 応用 フォーマット、オーディオ、テロップほか					
	7月	課題制作					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	各自で撮影した素材を用いた課題制作①					
	11月	各自で撮影した素材を用いた課題制作①					
	12月	卒業制作					
	1月	卒業制作					
	2月	卒業制作					
	3月						
成績評価	アプリケーションの習得度と課題						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1	科目区分	必修
科目名	イラストレータ・フォトショップ I・II			授業形態		演習・実習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			週3時間
担当教員	中越 豊子		使用テキスト		・Illustrator よくばり入門 ・Photoshopよくばり入門		
担当教員 実務経験概要	デザイン事務所・印刷会社にデザイナーとして勤務。広告やパンフレットなど印刷物全般を作成。現在フリーランスでグラフィックデザイン・WEBデザイン・イラストレーションを請け負う。						
授業概要 および 学習目標	映像素材の作成やポスターなどのデザイン業務全般に必須のPhotoshopとIllustratorを学び、写真の適切な調整や加工、また、デザインレイアウトのためのスキル習得を目指す。						
授業計画	4月	Photoshopの基本ツール、画像解像度などについて					
	5月	画像の切抜き・合成・補正について					
	6月	画像の修正、レイヤーマスクや調整レイヤーについて					
	7月	文字とシェイプについて 課題制作					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	Illustratorの基本ツール、描画の仕方について					
	11月	塗りや線、文字について					
	12月	レイヤーパネル、アピアランスについて					
	1月	効果やマスクによる加工、データ書き出しについて 課題制作					
	2月	課題制作					
	3月	春季休暇					
成績評価	学習態度、課題作品で評価します						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1	科目区分	必修
科目名	音響実習Ⅰ・Ⅱ			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	8単位	週または年コマ数			週4コマ
担当教員	竹田 智明		使用テキスト		映像音響設備マニュアル プロ音響データブック 劇場音響技術教書		
担当教員 実務経験概要	音響会社勤務においてPA、録音ミックス、MAの業務に従事。 2003年独立し個人事業所開業、現在まで同業務に携わる。						
授業概要 および 学習目標	音響業務に携わるために必要とする基本技術を習得する 舞台機構調整技能士3級合格に必要な程度の技術を習得する。						
授業計画	4月	スタジオ紹介 PAアナログミキサー使用の簡素なセッティングによる音出し					
	5月	アナログミキサー各入出力からの接続 ケーブルの扱い方、マイクセッティングの習得					
	6月	アナログミキサー各機能の使用手法、デジタルミキサー使用手法 中間審査実技試験					
	7月	PA仕込み図の作成 仕込み図 いくつかの事例を元にしたPAセッティング 期末審査実技試験					
	8月						
	9月						
	10月	レコーディングデジタルミキサー使用手法学習 P.A.スピーカーチューニング					
	11月	レコーディングスタジオでProTools 使用の録音手法学習 P.A.モニターセッティング・カラオケ程度のP.A.					
	12月	レコーディングスタジオで朗読などの録音・ミックス P.A.ミキサー音声調整方法の習得					
	1月	音声ミックス時のエフェクター使用手法の習得					
	2月	学年末審査実技試験					
3月							
成績評価	中間審査 期末審査を実施し点数評価 出席状況を加味します						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1	科目区分	必修
科目名	撮影実習Ⅰ・Ⅱ			授業形態		演習・実習	
開講期	通年	単位	8単位	週または年コマ数			週4コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		音響映像設備マニュアル		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。						
授業概要 および 学習目標	撮影機材の基本的な使い方を理解し、操作ができるようになる。 撮影用語の意味を理解する。						
授業計画	4月	カメラ 三脚など撮影機材の基本的な取り扱い					
	5月	マイクなど音声、照明機材の取り扱い 各種マニュアル設定の習得					
	6月	撮影内容に準じた準備とプラン 実際					
	7月	グループ課題制作					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	機材使用の応用 特殊機材の取り扱い					
	11月	グループ課題制作 番組					
	12月	グループ課題制作 CM					
	1月	グループ課題制作 自由課題					
	2月	進級課題制作					
3月							
成績評価	授業態度と実技試験						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1年	科目区分	必修
科目名	デジタルサウンドⅠ・Ⅱ			授業形態		講義・演習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			週3コマ
担当教員	清水目千加子		使用テキスト		・ゼロから始める楽典入門 ・Cubase Proで始めるDTM&曲作り ・ミュージッククリエイターハンドブック		
担当教員 実務経験概要	作曲家としての作品はオーケストラ、吹奏楽、合唱、室内楽など多岐にわたる。大学院修了後より音楽専門学校、大学で作曲、和声法、創作演習、ソルフェージュ、音楽理論、DTMの授業に携わってきた。						
授業概要 および 学習目標	音楽制作ソフト Cubase Pro を使って楽曲のMIDIデータの入力と編集、ミキシングをします。教材はスコアですので、楽譜の読み方や楽曲の構成、コード進行、楽器の特徴を学びます。さらにMIDI検定3級を取得するためにDTMの基礎を関連付けながら学習し、専門知識、技能を深めます。						
授業計画	4月	楽譜を読むための楽典基礎の学習と CubasePro の操作説明					
	5月	「課題曲1」楽譜の入力（メロディ、ピアノ）と簡単なミキシング					
	6月	前期中間試験：基本的な楽典の試験、「課題曲2」楽譜の入力（メロディ、ピアノ）					
	7月	前期末試験：4声部程度の楽譜の入力					
	8月	夏期休暇					
	9月	同上					
	10月	前期末試験の音出しとMIDI検定試験対策					
	11月	MIDI検定試験対策 後期中間試験ではMIDI検定試験模擬テストを実施する					
	12月	「課題曲3」楽譜の入力（メロディ、ピアノ、ベース、ギター、ドラム）					
	1月	コードトラックを用いた3部形式の楽曲制作					
	2月	学年末試験：コードトラックを用いた3部形式の作品発表					
	3月						
成績評価	定期試験とMIDI検定試験を基準とし、出欠状況、学習態度を総合的に評価する。						
その他	課題曲についてはその都度プリントを配布。						

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1	科目区分	必修
科目名	映像理論Ⅰ・Ⅱ			授業形態		演習・実習	
開講期	通年	単位	4単位	週または年コマ数			週2コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		音響映像設備マニュアル		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。						
授業概要 および 学習目標	テレビ技術、映像制作における基礎的な理論を理解する						
授業計画	4月	光と色の成り立ち 光の性質 色の基礎知識					
	5月	テレビや映像の基礎概念と変遷					
	6月	映像信号の種類と同期信号					
	7月	次世代フォーマットの種類と詳細 試験対策					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	デジタル信号の成り立ち、ファイルの種類と用途					
	11月	ファイル形式の実際と特徴 ネットワーク					
	12月	編集システムの基礎 システム構築					
	1月	メディアの変遷と種類 オンライン配信システム概要					
	2月	試験対策					
	3月						
成績評価	筆記試験						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1	科目区分	必修
科目名	照明実習Ⅰ・Ⅱ			授業形態		演習・実習	
開講期	通年	単位	4単位	週または年コマ数			週2コマ
担当教員	土田 充		使用テキスト		舞台・テレビジョン照明 基礎編		
担当教員 実務経験概要	舞台照明業務を担う会社の代表のほか、同業界の組合理事な担当。						
授業概要 および 学習目標	舞台照明における歴史、実際に運用するうえで必要となる知識や技術を実習を交えて学ぶ。						
授業計画	4月	舞台照明の歴史 基礎					
	5月	舞台の構造と機構 校外授業 ホール見学					
	6月	機材の種類と実際 グループ実習 準備					
	7月	機材の種類と実際 校外授業 グループ実習					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	前期の振り返り					
	11月	前期の振り返り					
	12月	グループ演習の準備					
	1月	グループ演習の準備					
	2月	グループ演習とホール見学					
	3月						
成績評価	授業態度と実習レポート						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	1年	科目区分	必修
科目名	シナリオ論Ⅰ・Ⅱ			授業形態		講義	
開講期	通年	単位	4単位	週または年コマ数			週2コマ
担当教員	坂本善昭		使用テキスト		「シナリオの基礎Q&A」新井一/原島将 郎著/ダヴィット社刊 及びオリジナルテ キスト作成		
担当教員 実務経験概要	1980～2000 金沢のタウン誌編集長。～2010 北陸放送、テレビ金沢等の番組企 画構成。～2024 メディアプラン・プロデュースなど。現在、NHKラジオマイあさだよ り石川出演。						
授業概要 および 学習目標	時代の流れを日常の視点に捉えつつ、物語性の創出や社会との関わりを意識して「シナリ オ」作りに携わることの大切さを学ぶ。そのためのケーススタディや作品鑑賞、および実技な どを積み重ね、自分の手で描くオリジナルなシナリオ作成への興味喚起と技術習得をはか る。						
授 業 計 画	4月	シナリオとは何か、プレゼンテーションによる自己表現スキルを学ぶ。					
	5月	さまざまなシナリオ用語を理解・把握し、応用する。					
	6月	映画作品鑑賞などを通して、ドラマ性の創出法や構成法を学ぶ。					
	7月	考現学などを通して、日常と社会のあり方や観察による発想力を学ぶ。					
	8月	夏期休暇					
	9月	夏期休暇					
	10月	文芸名作の朗読や感想文作成から表現方法や創作手法を学ぶ。					
	11月	ドキュメントとドラマの構成手法を日常話題で拾い、物語化する。					
	12月	テーマ設定のオリジナルシノプシスを課題として作成。					
	1月	テーマ設定のオリジナルシノプシスを課題として作成。					
	2月	日常生活から物事のストーリー化と視点・発想の楽しみ方を知る。					
3月							
成績評価	出席・授業および課題提出作品の評価・年2回の試験による総合評価。						
その他	各自が通年の課題作品をファイルして保存活用をはかれるようにしている。						

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科	学年	2	科目区分	選択
科目名	音響技術Ⅰ・Ⅱ	授業形態	講義 演習 実習		
開講期	通年	単位		週または年コマ数	週3コマ
担当教員	竹田 智明	使用テキスト	映像音響設備マニュアル プロ音響データブック 劇場音響技術教書		
担当教員 実務経験概要	音響会社勤務においてPA、録音ミックス、MAの業務に従事。 2003年独立し個人事業所開業、現在まで同業務に携わる。				
授業概要 および 学習目標	音響業務に携わるために必要とする様々な技術(PA、レコーディング、映像音声 収録技術等)を習得する。 舞台機構調整技能士3級合格の必要技能を習得する。				
授 業 計 画	4月	PAにおける各スピーカーのチューニング 音圧調整 PAシステムプランニング			
	5月	PA同録方法(ProTools)の習得 少ないバンドメンバーのPA MIX、音調整			
	6月	PA同録(ProTools) 同録された音源でのPA音声調整(ProTools)			
	7月	生ライブPAミックス 生ライブ中継音声ミックス 前期末実技試験 システムプランニング作成試験			
	8月				
	9月	公共音楽ホールにてプロ演奏家による演奏をProToolsでの録音(4コマ)			
	10月	映像音声収録方法説明 ProTools の様々な使用方法 前期収録分のCD制作のための音声ミックス			
	11月	前期収録分、ホール収録分のCD制作(卒業制作)のための音声ミックス			
	12月	CD制作(卒業制作)のための音声ミックス WAVE LAB によるマスタリング			
	1月	CD制作のための音声マスタリング WAVE LABによるCDマスター制作			
	2月	録音ミックス制作物提出 学年末考査			
	3月				
成 績 評 価	中間考査 期末考査を実施し点数評価 卒業制作物の評価 出席状況を加味します				
そ の 他					

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	選択
科目名	デジタルサウンドⅢ・Ⅳ			授業形態		講義・演習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			週3コマ
担当教員	清水目千加子		使用テキスト		・Cubase Pro 9ではじめるDTM&曲作り ・楽典100のコツ		
担当教員 実務経験概要	作曲家としての作品はオーケストラ、吹奏楽、合唱、室内楽など多岐にわたる。大学院修了後より音楽専門学校、大学で作曲、和声法、創作演習、ソルフェージュ、音楽理論、DTMの授業に携わってきた。						
授業概要 および 学習目標	音楽制作ソフト Cubase Pro を使用した作品制作。簡単なメロディでもサウンドメイクやアレンジのテクニック、構成や演奏の工夫を積み重ねて独創的な世界観に仕上げる技術を習得する。						
授 業 計 画	4月	Beethoven「弦楽四重奏曲」を課題に用いて、入力をしながら Cubase Pro の操作を復習する。					
	5月	Beethoven「弦楽四重奏曲」の楽曲分析と基本的なコード進行の学習					
	6月	メロディの創作とコード付け。前期中間試験で3部形式の作品発表を行う。					
	7月	前期末試験:3部形式の作品を弦楽四重奏の形に仕上げていく。					
	8月	夏期休暇					
	9月	同上					
	10月	テキスト内の楽曲を用いてリズムセクション、コーラスなどのサウンドメイク、ストリングスのフレージングを学習する					
	11月	クリスマスソングのアレンジ。後期中間試験で作品発表					
	12月	卒業作品制作:これまでに学習した作曲法、サウンドメイク法を用いたDTM作品の創作。					
	1月						
	2月	学年末試験:卒業創作作品の発表					
3月							
成績評価	定期試験を基準とし、出欠状況、学習態度を総合的に評価する。						
その他	課題曲についてはその都度プリントを配布する。						

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	選択
科目名	DTP実習Ⅰ・Ⅱ			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			3時間
担当教員	前伊知郎		使用テキスト		なし		
担当教員 実務経験概要	DTP・WEB・写真・動画の仕事に従事しながら、デザイン系専門学校の講師歴20年以上(常勤・非常勤)						
授業概要 および 学習目標	Adobe Illustrator & Photoshopを使用した課題制作。ピクトグラム、ポスター、本の作成など課題を通してアプリケーションの使い方や実践的なデザイン手法を学ぶ						
授業計画	4月	Illustratorの使い方(応用)					
	5月	Photoshopの使い方(応用)					
	6月	課題:ピクトグラム制作					
	7月	課題:ピクトグラム制作					
	8月	夏季休暇					
	9月	課題:ポスター制作					
	10月	課題:ポスター制作					
	11月	課題:雑誌の見開き制作					
	12月	課題:雑誌の見開き制作					
	1月	課題:卒業制作 本の制作					
	2月	課題:卒業制作 本の制作					
	3月						
成績評価	提出課題の評価・授業態度・出席率						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2	科目区分	選択
科目名	映像デザインⅠ・Ⅱ			授業形態		講義・演習・実習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			週3コマ
担当教員	森崎和宏		使用テキスト		なし		
担当教員 実務経験概要	テレビ制作会社にてディレクターとして勤務後、独立。映像作家として活動。 その後、映像制作・デザイン会社代表取締役。						
授業概要	映像制作における撮影・編集技術およびそれに伴う思考法などの習得を目指す。						
および							
学習目標							
授業計画	4月	写真撮影・現像・映像撮影					
	5月	映像撮影/ゲスト講演会など					
	6月	編集技術・前期課題制作					
	7月	前期課題制作					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	卒業制作に向けて/企画制作					
	11月	卒業制作に向けて/制作作業					
	12月	卒業制作・中間発表					
	1月	卒業制作・改善					
	2月	卒業制作・改善/最終発表					
3月							
成績評価	通常授業の受講態度、課題内容での評価						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	必修
科目名	就職対策Ⅰ・Ⅱ			授業形態		講義	
開講期	通年	単位	4単位	週時間数			2時間
担当教員	掛場 泰行		使用テキスト		全解 SPI実践問題集		
担当教員 実務経験概要	高等学校の数学教諭を経て、現在の学校にて数学系と就職に関わる ビジネストレーニングを20年以上担当						
授業概要 および 学習目標	ここ最近の人材不足により、就職は大変良い状況ではあるが、本人の希望を 叶えることは難しい。特に適正検査等の筆記試験で不合格となる学生が多い ことから、多くの企業の採用試験で使われている「SPI」「一般常識」を学ぶ。						
授業計画	4月	言語問題(同意語・反対語・敬語) 非言語問題(鶴亀算・年齢算・濃度算)					
	5月	言語問題(包含関係・行為関係・原料関係・用途関係) 非言語問題(仕事算・水槽算・植木算)					
	6月	言語問題(複数の意味・語句の意味) 非言語問題(損益算・精算)					
	7月	言語問題(ことわざ・慣用句) 非言語問題(速度算・通過算)					
	8月	夏期休暇					
	9月	同上					
	10月	言語問題(整除問題) 非言語問題(順列・組合せ・確率)					
	11月	言語問題(長文問題) 非言語問題(集合・グラフ)					
	12月	SPI模擬試験 ① 一般常識 ①					
	1月	SPI模擬試験 ② 一般常識 ②					
	2月	SPI模擬試験 ③ 一般常識 ③					
	3月	春期休暇					
成績評価	定期試験と就職試験の合否						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	必修
科目名	モーショングラフィックス			授業形態		実習	
開講期	前期	単位	3単位	週または年コマ数			3コマ
担当教員	齋藤 佑馬		使用テキスト		なし		
担当教員 実務経験概要							
授業概要 および 学習目標	AfterEffectsの使用方法を学びモーショングラフィックスを制作する						
授 業 計 画	4月	初期設定/プロジェクト作成/基本操作					
	5月	キーフレームの基礎/位置・回転・不透明度・スケール/マット					
	6月	課題① 音の読み込み/波形表示/カメラ/ブラー等					
	7月	課題② 好きな曲の選定/構成アイデア出し					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
3月							
成績評価	課題の評価						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	必修
科目名	卒業制作			授業形態		実習	
開講期	後期	単位	2単位	週または年コマ数			2コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		なし		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術大学校に勤務。						
授業概要 および 学習目標	卒業作品の制作						
授 業 計 画	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月	卒業制作 内容検討とプレゼン					
	11月	卒業制作 各自の制作					
	12月	卒業制作 中間チェックとプレゼン 合評					
	1月	卒業制作 修正とプレゼン準備、卒業作品展 開催準備					
	2月	卒業作品展 準備と開催					
3月							
成 績 評 価	卒業作品の評価						
そ の 他							

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	必修
科目名	イベント実習Ⅰ・Ⅱ			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			3コマ
担当教員	大谷内 真郷		使用テキスト		なし		
担当教員 実務経験概要	専門学校を卒業後、映像制作、イベント制作、音楽レーベルの運営等を行いながら金沢科学技術高等学校に勤務。						
授業概要 および 学習目標	検定対策 / イベント運営の知識を習得し、学内イベントの運営を行う						
授業計画	4月	映像音響処理技術者資格認定試験 検定対策					
	5月	映像音響処理技術者資格認定試験 検定対策					
	6月	イベントの基礎知識 法規 学内イベント① 役割分担 準備					
	7月	学内イベント①の実施と振り返り					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	学内イベント② 役割分担 準備					
	11月	学内イベント②の実施と振り返り					
	12月	卒業制作					
	1月	卒業制作					
	2月	卒業制作					
	3月						
成績評価	授業態度と課題の評価						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2	科目区分	必修
科目名	広告論			授業形態		講義	
開講期	前期	単位	2単位	週または年コマ数			2コマ
担当教員	大久保浩秀		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要	広告キャンペーンの企画・制作に従事。資生堂ディシラ、日本スイミングクラブ協会、加賀温泉郷協議会、氷見市観光協会、ノジマ、北陸電力などの企画制作を担当。						
授業概要 および 学習目標	広告制作に関する知識と考え方、実践的な企画の技術やプレゼンテーションまでを総合的に学ぶ。						
授業計画	4月	広告の仕事の種類と効果を知る					
	5月	良い広告実例を考察する					
	6月	企画の考え方 そのアプローチの区分と実際					
	7月	企画制作及びプレゼンテーションの実践					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
3月							
成績評価	授業態度と企画案						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響			学年	2	科目区分	必修
科目名	DTM実習Ⅰ・Ⅱ			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	6単位	週または年コマ数			3コマ
担当教員	舟崎康介		使用テキスト		Cubase ProではじめるDTM&曲作り		
担当教員 実務経験概要	音楽クリエイターとしてTV、CM、WEB、配信、CDなど、様々なコンテンツの音楽を数多く手がける。DTM講師歴28年。						
授業概要	コンピューターによる音楽作り、編集するための知識、技術を習得する。映像音響分野の向上を目指す学生にとって切っても切れない「音」への理解を深める。また実際にあった音楽制作業務の紹介をしながら、現場の裏側を知り、普遍的なクリエイターの心得、仕事術を身に付ける。						
および							
学習目標							
授業計画	4月	1年生で習得していない点を中心にソフトの基本操作を学ぶ。					
	5月	オーディオとMIDIの違いを理解しながら作曲編曲を実践する。					
	6月	オーディオ編集、ミキシング、マスタリングの基礎を身につける。					
	7月	プロ現場のデータを公開。より高度な制作への理解を深める。					
	8月	夏季休暇					
	9月	夏季休暇					
	10月	架空CMの音楽制作を通しクライアントワークの作曲について学ぶ。					
	11月	映像や想定したシーンに合わせた音楽制作について学ぶ。					
	12月	プロ現場の仕事の流れを解説。クリエイターの心得を習得する。					
	1月	より多くの楽器パートで構成される音楽制作を実践する。					
	2月	より高度なミキシング、マスタリングの技術を身に付ける。					
	3月						
成績評価	出席状況・授業態度20%、年4回の試験(作品提出)結果にて、4段階で評価する。						
その他	試験で制作した作品はのちの授業で発表、プレゼン。アウトプットの重要度を理解する。また、互いの評価で向上心を持ってもらう。						

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	必修
科目名	情報リテラシー実習			授業形態		実習	
開講期	前期	単位	3単位	週または年コマ数			週3コマ
担当教員	窪田 夏希		使用テキスト				
担当教員 実務経験概要	他パソコンスクールにてOffice関連の資格取得サポートを経験。 フリーランスのデザイナーとしても、企業のプレゼンテーション資料や社内資料の 作成などを請け負う。						
授業概要 および 学習目標	ビジネスシーンにおけるGoogle wrok spaceの基本ルールを学習する。 各種アプリの活用方法を身に付け、ビジネスシーンを想定したコンピュータリテラ シーを身に付ける。						
授 業 計 画	4月	Google wrok space 基本操作/ビジネス文書の作成					
	5月	ビジネス文書の作成					
	6月	表の作成					
	7月	プレゼン資料の作成					
	8月	夏季休暇					
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
3月							
成績評価	出席状況、及び授業態度 提出物 定期テストの成績						
その他							

令和7年度 金沢科学技術大学校 専門課程 シラバス

学科/コース	映像音響学科			学年	2年	科目区分	必修
科目名	映像制作Ⅰ・Ⅱ			授業形態		実習	
開講期	通年	単位	12単位	週または年コマ数			6
担当教員	中村俊彦		使用テキスト		なし		
担当教員 実務経験概要	映像制作の中でも、企画・構成・演出・編集を中心に4年以上携わっている						
授業概要 および 学習目標	映像制作の基本を最重要視し、グループワークで課題を制作する。グループワークを通じてコミュニケーション能力を高める。						
授業計画	4月	1年次の復習をかねて、簡単なドラマを企画・構成					
	5月	5分程度の映像をグループで技術スタッフを決め、実際に撮影・編集。					
	6月	撮影後の映像素材を編集・MA作業、仕上げ作業					
	7月	初回の作品の反省点を確認しながら、第2弾の課題制作					
	8月	夏期休暇。後期に向けてのオリジナルシナリオの作成。					
	9月	夏期休暇。ロケハン、撮影準備					
	10月	卒業制作の撮影。					
	11月	卒業制作の撮影。					
	12月	卒業制作の撮影。編集、MA等、プレビュー。					
	1月	卒業制作の歳撮影、追加撮影。					
	2月	卒業制作の仕上げ作業、公開に向けての宣伝制作					
	3月						
成績評価							
その他							